李曲藪纂

增補

高

卷之貳

浪速行李畳行畧傳

兩座作者名譜

同淨瑠璃外題

三都操座淨瑠璃

外題略記

津田文庫
文庫1
1762
3

早稲田大学図書館藏書

謡曲類纂巻之貳

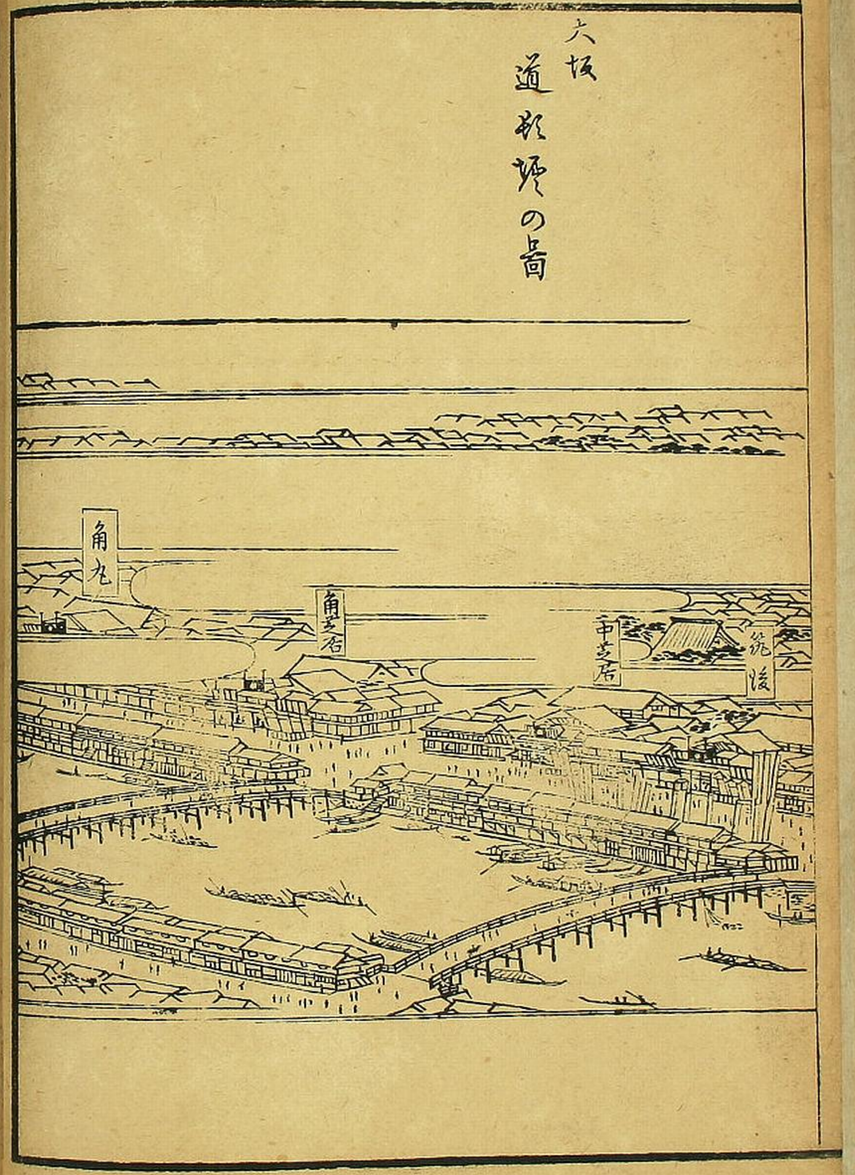
目録

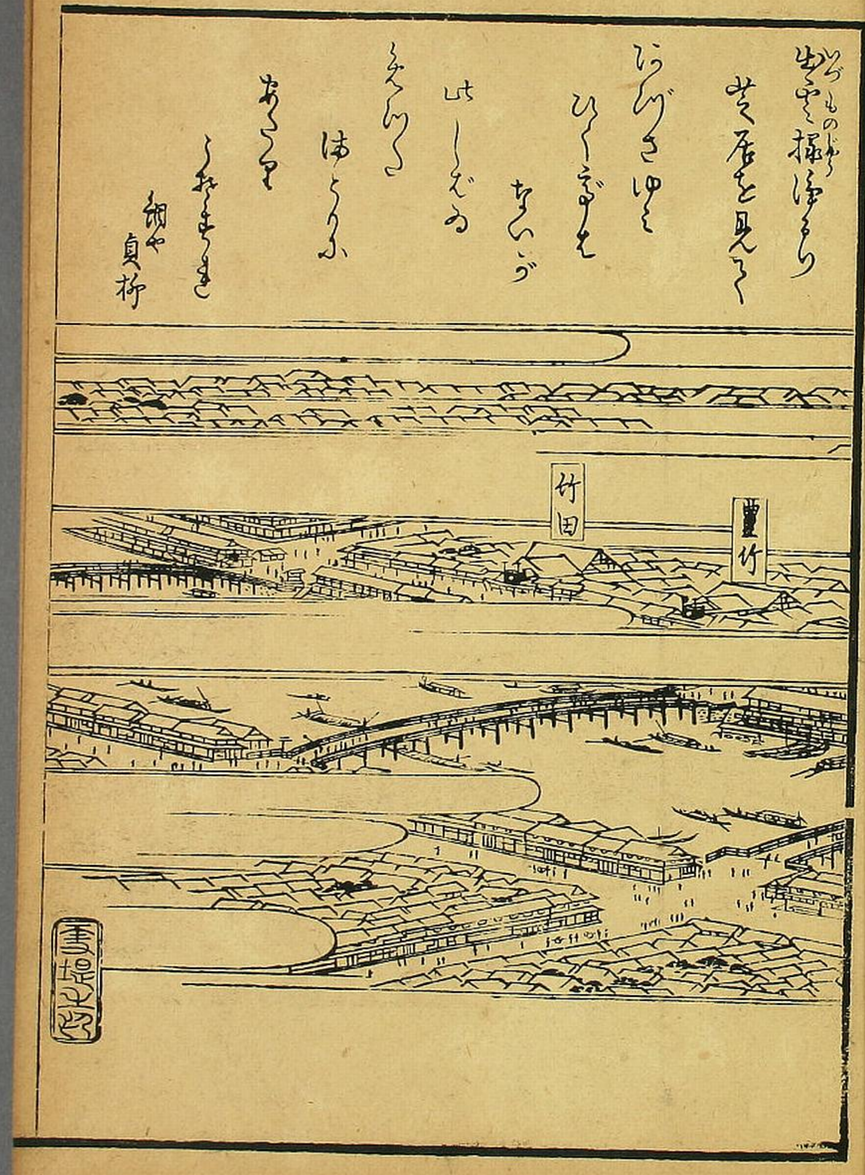
竹本筑後少掾　竹本播磨掾　竹本摂津掾　竹本義太夫　竹本政太夫　竹本染太夫　竹本住太夫　竹本綱太夫　竹本小出雲掾　竹本伊勢太夫　竹本喜太夫　竹本春太夫　竹本越後掾　竹本駒太夫　竹本采女掾　竹本津太夫　竹本文字太夫　竹本錣太夫　竹本政太夫　竹本染太夫　竹本住太夫　竹本綱太夫　竹本小出雲掾　竹本伊勢太夫　竹本喜太夫　竹本春太夫　竹本越後掾　竹本駒太夫　竹本采女掾　竹本津太夫　竹本文字太夫　竹本錣太夫

010190605235

六坂

通新堀の景





大坂　竹本筑後少掾藤原博教

竹本義太夫 始義竹

竹本若太夫 始一派竹平紙吉掾と号す

同 頼母太夫 大坂北の内に住

陸奥義太夫 よる

竹本和泉太夫 堺の産と号す

竹本播磨少掾 始源を其中国の名に

竹本伊勢太夫 始竹本伊勢掾と号す

竹本大和太夫 始播磨少掾一派の名人

竹本大和小掾 義原宗家 名は倫之 始竹本河内太夫 始竹本春太夫

とそうなる人なりて名人にて昭和五年十月八日七十五才にて歿す

竹本華太夫

竹本播磨少掾 始源を其中国の名に

竹本播磨掾 始竹本播磨少掾と号す

竹本播磨大掾 始竹本播磨掾と号す

竹本播磨小掾 始竹本播磨大掾と号す

竹本播磨少掾 始竹本播磨小掾と号す

瞳隙小録ニ載ル
所
近松門左衛門ノ像



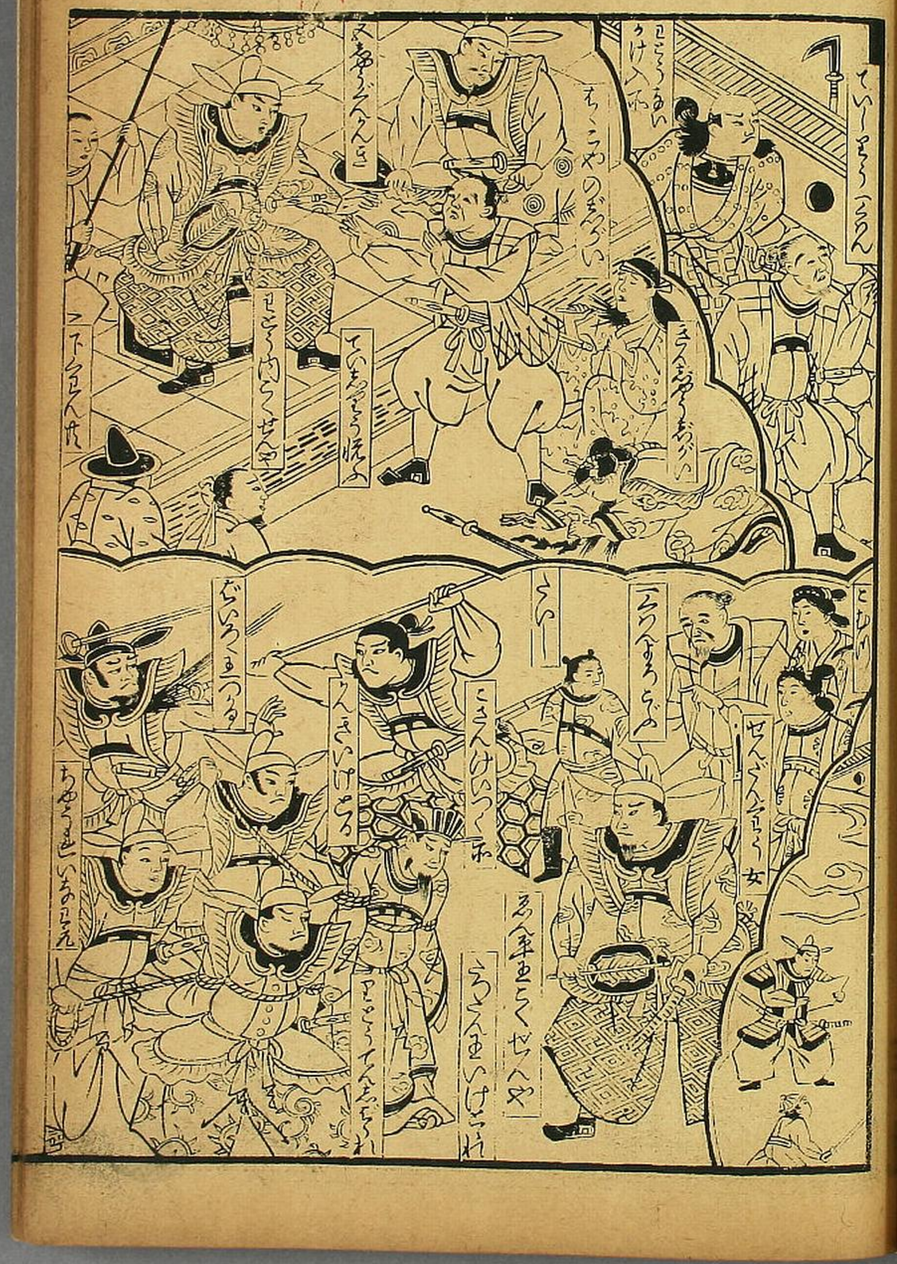
円峯縮摸

此本紙ハ建仁寺
松原中吾氏ノ蔵
ナリトゾ

実ニ此人ハ生涯ヲ遂ク浪人ニ近松門左衛門ト名乗
テ当芸道ニ於テ為ニ雷名ノ左右スル者ヲ
ル事数年ニシテ都万太夫ト仮ニ世ヲ営ムヤウニ
勢ヲ振ヒ芝居ヲ興行シ浄瑠璃ヲ作リ
庚子ノ冬京都ニ於テ没ス大全ニ入ル

よつて
のけり
とせり
富ちて
皆我命ヲ
辛卯辰十一月廿七日ニ於テ
世ヲ文左ト法名ス
俗ニ甲冑ヲ
高麗ノ
大坂八丁目寺町法妙寺ニ

常森中納言 同じき所
新板雛機嫁 同じき月
宗祇法師 同じき月
汗氏為憲妻 同じき月
長町女腹切 同じき月
蟬丸 近松作
大磯虎稚物 同じき月
曽我五人兄弟 同じき月
那須与市西海硯 近松作
百日曽我 同じき月
神泥業万石 同じき月
曽我五人兄弟 同じき月
頼政追善 同じき月
小野道風紀 同じき月
小野道風青柳硯 近松作
浦島年代記 近松作
関東軍法 同じき月
源氏烏帽子折 同じき月
須磨源氏 同じき月
大磯虎稚物 同じき月
須磨源氏 同じき月
源氏烏帽子折 同じき月
源氏雲浮世画合 近松作
源氏烏帽子折 同じき月
源氏烏帽子折 同じき月
源氏烏帽子折 同じき月





歌討(うたう)稽禰(つづれ)綿　四月
又轉ス　杉原作

御新(おにい)榜堀川夜討　又文三四月　又轉ス　杉原作
土佐入道兵庫岬　四月　小西ヨリ　牛田ヨリ来ル　杉原作
紗手(さて)懸(かけ)川(がわ)　又文三年四月　又轉堂ニ来ル　杉原作
小栗判官車街道　四月　杉原作
五段ニ成ル　小西ヨリ来ル
ふりかけ髪(がみ)　又文四年四月　又轉ス　杉原作
今川(いまがわ)状(じょう)揃(そろい)　又文二年四月　又轉ス　杉原作
将門(まさかど)対面(たいめん)　四月　又轉ス　杉原作
伊豆(いず)院宣(いんぜん)流(ながし)　又文二年四月　又轉ス　杉原作
新(あら)曽根(そね)　四月　又轉ス　杉原作
初(はつ)報(ほう)　四月　杉原作
法(ほう)華(げ)三昧(ざんまい)　四月　杉原作
宮町(みやまち)千軒(せんげん)　四月　杉原作
男(おとこ)作(づくり)　四月　杉原作
丹波(たんば)爺(じい)茶(ちゃ)　四月　杉原作
兜源氏(かぶとげんじ)　四月　杉原作

初(はつ)鰹(がつお)　四月　杉原作
八幡(やはた)鍛冶(かじ)　四月　杉原作
軍法(ぐんぽう)軍(いくさ)見(み)　四月　杉原作
出雲(いずも)阿国(おくに)　四月　杉原作
安来(やすぎ)節(ぶし)　四月　杉原作
猿舞(さるまい)　四月　杉原作
男作(おとこづくり)　四月　杉原作
猿舞(さるまい)　四月　杉原作

豊竹観音坂 梁塵軒と号ス
自作のよろづ

大坂南久太郎町の北うら御堂筋の西側
御堂筋を北へ行て
三筋目を西へ入
北側二軒目
豊竹観音坂
梁塵軒と号ス
自作のよろづ

豊作藏の部

豊作藏の部

豊作藏の部

中村所見　芝田口飛　潮華郷　本ニ田ノ他ニモアリ　後世ノ訛ナリ
ニ従ヒ改ム　井ヨリ高キ場　築後時ノ　法水ヨリ高キ場　芝井ヨリ高ク　但シ法田ヨリ
豊後行程海路砂領

新井白石の説ニ

姫島神社記

往古未ダ雑　日本書紀ニ
お津原ニ高殿ヲ建テ　宇水二年
切ノ字ヲ金ニ改ム
東岸居住　日本書紀ニ
牧貫皇后ノ五ノ寒服　文徳実録ニ
切ノ上田村麿　日本後紀ニ
能ク之ヲ識ル　日本紀ニ

東山数十ノ日ノ遊　文徳実録ニ
大蔵省記ス所ノ官ノ
お津原ニ高殿ヲ建テ　宇水二年
切ノ字洞ノ西ノ井　日本紀ニ
東岸居住　日本紀ニ
牧貫皇后ノ五ノ寒服　文徳実録ニ
切ノ上田村麿　日本後紀ニ
能ク之ヲ識ル　日本紀ニ

海ヲ往来ス　日本紀ニ
姫島懐ヨシ　文徳実録ニ
新百人一首　日本紀ニ
今猶数十ノ　日本紀ニ
往田吉女　日本紀ニ
切ノ字洞ノ西ノ井　日本紀ニ
切ノ字ヲ金ニ改ム　日本紀ニ

いろはの始ヲ文潤　日本紀ニ
ヲ字ヲ海ニ改ム　宇水二年
須磨二ノ日道　日本紀ニ
姫島懐ヨシ　文徳実録ニ
不ル知ル大子舎利部　日本紀ニ
お津原ノ西ノ井　日本紀ニ
切ノ字洞ノ西ノ井　日本紀ニ
新井白石ノ説ニ

秦始皇帝ヲ支那　日本紀ニ
国ニ記ス所ノ徐福　日本紀ニ
類先新説同論　日本紀ニ
按ズルニ雑賀　日本紀ニ

女ヲ宮中ニ挙ゲ　日本紀ニ
ヲ字ヲ海ニ改ム　宇水二年
ヲ字ヲ海ニ改ム　日本紀ニ
泉井枕ヲ設ケ　日本紀ニ
撫恤ヲ垂ル　日本紀ニ
お津原ニ高殿ヲ建テ　宇水二年
切ノ字ヲ金ニ改ム　日本紀ニ
不ル知ル大子舎利部　日本紀ニ
お津原ニ高殿ヲ建テ　宇水二年
切ノ字洞ノ西ノ井　日本紀ニ
切ノ字ヲ金ニ改ム　日本紀ニ
不ル知ル大子舎利部　日本紀ニ
お津原ニ高殿ヲ建テ　宇水二年
切ノ字洞ノ西ノ井　日本紀ニ
切ノ字ヲ金ニ改ム　日本紀ニ

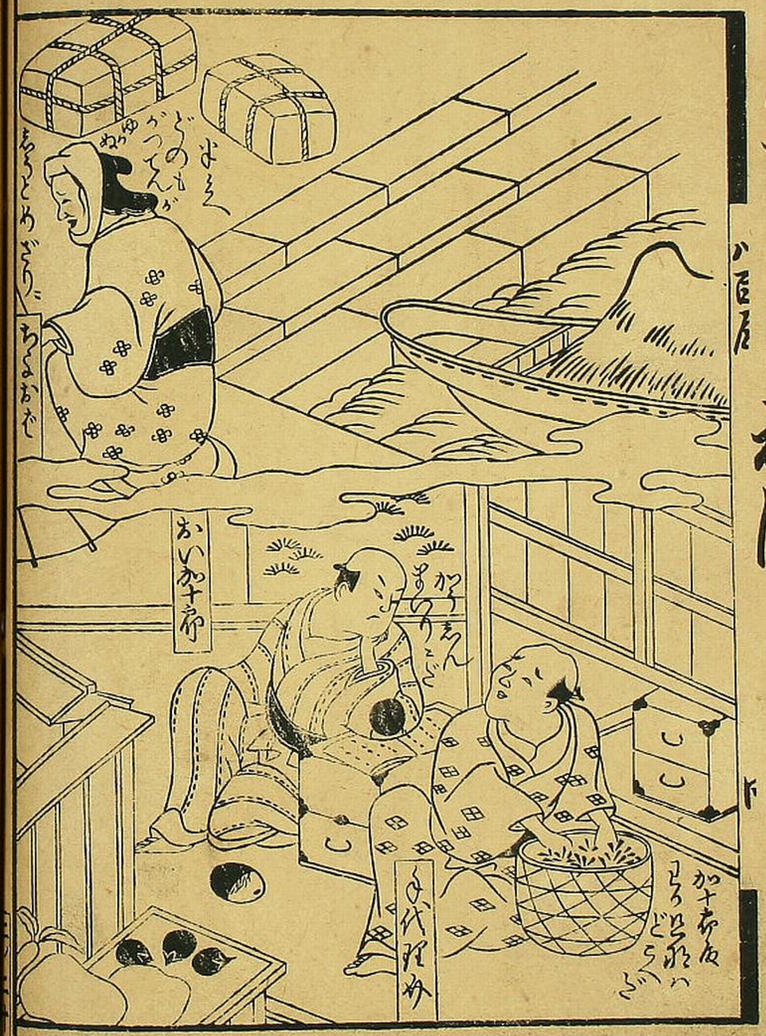
須磨ノ大子舎利部　日本紀ニ
泉井枕ヲ設ケ　日本紀ニ
撫恤ヲ垂ル　日本紀ニ
お津原ニ高殿ヲ建テ　宇水二年
切ノ字洞ノ西ノ井　日本紀ニ
切ノ字ヲ金ニ改ム　日本紀ニ
不ル知ル大子舎利部　日本紀ニ
お津原ニ高殿ヲ建テ　宇水二年
切ノ字洞ノ西ノ井　日本紀ニ
切ノ字ヲ金ニ改ム　日本紀ニ

類朝士録ノ説　日本紀ニ
お新町家ノ伝　日本紀ニ
切按ズルニ雑賀　日本紀ニ
敵討雑賀按ズルニ雑賀　日本紀ニ
赤濱ノ事ヲ載セ　日本紀ニ
往来中ノ要地ノ　日本紀ニ
沖屋お深伝ノ　日本紀ニ
切ノ字洞ノ西ノ井　日本紀ニ

壮国源台公子於筑紫 巻二十
手作湯係氏 四首
切利組を夫丸
須磨にて旅を
お様なる形わ 四首 一風流てくさを私が仕を
切 似雖くこれ他を
須磨田舎屋 四首
摂令尼挽軍 高橋虫麻呂 二首
為りた作軍模 四首
ぐ年七年こと形ぐ二首
世七年七年之方七年之年
筑紫新宅鈸 沙弥満誓 二首
年年年年為 四首
神代紀 四首
雲雀を城の国 四首
紀伊国作 四首
花山院都の宴 元正天皇 四首
熙日楽遊苑 四首
須磨士宴 二首
神功皇后三韓徴 高橋虫麻呂 四首
後西公代紀 二首
お若子の手の庫 四首
切今宮を宇み陵連打打
八幡を帝東の梭 巻七 二首
仁徳天皇万歳事 四首
小墾田花報 推古天皇 四首
士師忠信縁之長 巻十三 四首
天智天皇豊年秋 四首
甲陽軍鑑大権打 宇保二年 四首
後西公代紀 二首
大嘗会悠紀主基屏風和歌 四首

三韓を攻伐 四首
伏見宮御作 四首
大友王子を悲歎 四首
高山嶺宮町会我 四首 神こ海を支給て出光
須磨を間接 四首
類設宴 宇保九年二月一風流御作 四首
三年二年一日大将軍大矢口の 四首
女蝉丸 四首 一風流御作 歌遠を居て
大八洲 四首
南北軍問答 四首
大津顕つの代捷 四首 元弘三年 攻文持を作
北条時頼紀 四首 一風流御作
我家の小隈 宇保十三年二月 四首
男我家小隈 宇保十三年二月 四首

二川服常　物語





一谷嫩軍記　浄瑠璃　時代　三段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

後藤又兵衛基次　実在の人物

相馬の御所五郎将門　実在の人物

天拝山霊験記　浄瑠璃　時代　三段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

三国小女郎波枕　浄瑠璃　世話　三段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

義仲勲功記　浄瑠璃　時代　三段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

粟田口霜月駒迎　浄瑠璃　時代　三段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

冥途の飛脚　浄瑠璃　世話　三段目　切　近松門左衛門　享保五年（一七二〇）大坂竹本座初演

栬狩剣本地　浄瑠璃　時代　三段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

行人ヶ坂

先陣源氏鵯　時代　浄瑠璃　三段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

袖萩祭文語　時代　浄瑠璃　三段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

桜姫東文章　時代　浄瑠璃　五段目　切　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

雛鶴三番叟　時代　浄瑠璃　一段目　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

雛鶴姫松竹梅　時代　浄瑠璃　一段目　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

雛鶴姫松竹梅　時代　浄瑠璃　一段目　並木宗輔　三好松洛　合作　享保十四年（一七二九）大坂竹本座初演

雛鶴三番叟

舞曲類纂 巻之二